令和4年度全九州高等学校体育大会 第28回全九州高等学校アーチェリー競技大会

# 新型コロナウイルス感染症対応

# 全九州高等学校アーチェリー競技大会実施に関する基本方針

◇「競技会場」とは、湯布院スポーツセンター第一球技場を指す。

「施設|「大会会場|とは、湯布院スポーツセンターを指す。

### 【競技日】

- ■競技会は有観客(指定された場所)での開催を原則とする
- ■競技会に出場できない者(大会に参加できない者)は、以下のとおりとする
- (1)陽性と認定され、療養期間中の者。
- (2)濃厚接触者に認定され、自宅待機中の者。
- (3)学校長から要待機者と特定され、行動制限・自宅待機を指示された期間中の者。
- (4)学校・学年・学級・部活動等、集団単位の出席停止措置を指示された期間中の者。
- (5)監督会議時、及びそれ以降に、発熱やのどの痛み等の症状がある体調不良者。
- ※1 上記(1)~(5)については、参加校の責任において判断する。
- ※2 当該生徒以外の選手については、参加校の責任において出場可否の判断とする。
- ■施設、競技会場への入場はマスクの着用を義務付ける
- ■競技会場内に入場する際は、監督会議で配布された ID カードを着用する
- ■競技会場入り口で検温とアルコール消毒を必ず行う
- ■こまめな手洗いを行う
- ■施設内の指定されたトイレを使用し、出入口にアルコールを設置、洗面所にはハンド ソープを設置し、ペーパータオルを使用する

#### 【宿舎・移動】

『宿泊配宿センターから配宿された全ての宿舎に適用する』

- ■選手の宿舎:チームの宿舎は密にならないよう、一人1部屋の確保を原則とする
- ■宿舎での生活で、他室への出入りを禁止する

チーム同士の交流もできるだけ避け、必要最低限とする

食事をする場所や時間をずらすなど密を防ぐ、特にエレベーターボタン、ビッフェなど の前後の指先消毒の励行を徹底する

- ■宿泊施設独自の対策基準がある場合はそれに従う
- ■バスで移動する際は、可能な限り席の間隔をあけて座り、車内の換気に留意する。(1時間に3回の換気、できれば全開でなくても常時開窓が推奨される)
- ■公共交通機関で移動する場合は、各個々人が政府の推奨する感染予防策を徹底する

#### 【コロナ感染症に対する管理体制】

■体調管理:朝晩必ず検温を行い、体調チェックを行う

# 体調不良並びに37.5度以上の選手については宿舎で待機させる。

### (大会会場には来させない)

■大会前後に体調チェックを行い、大会前の「九州大会 健康チェックシート」を大会 当日に持参し、監督または引率責任者が管理する。発熱者、急病者、濃厚接触者の恐 れがある者が確認された場合は、大会本部が該当校参加者の「九州大会健康チェック シート」を提出してもらう

(大会会場へ必ず持参する)

### 【大会当日、すべての人に求められる対応】

- ■以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること
  - ○体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛・味覚や嗅覚異常等の症状がある場合)
  - ○同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - 〇過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とせれている国、地域 等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
  - ■大会会場では、常に『マスク』を持参し着用する
  - ■こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
  - ■握手、声援、ハイタッチなどは行わない
  - ■競技関係者、スタッフ等とのソーシャルディスタンス(できるだけ2m、最低1m) を確保する
  - ■物品の貸し借りは行わない。
  - ■共有物(競技必需品・筆記用具、無線機等)を使用する場合は十分な消毒確認をする
  - ■開催会場及び主催者、主管者が定めた措置を順守し、従うこと
  - ■試合開催終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触の有無等とともに報告すること
  - ■主催者は参加者全員の個人の氏名、連絡先を保持し、緊急時の連絡先を把握する。個人情報は新型コロナウイルス感染対策において必要な場合に限られるが、情報集約時に各個人の承諾を得ておくこと

#### 【大会開催中に競技会場で感染者が出た場合】

- ■速やかに大会を中断し、全ての者が施設内にとどまり、主催者の指示に従う 【注4】主催者は速やかに保健所、大分県に連絡をいれ、判断を仰ぐ
- ■場合によっては、大会が中止になる場合がある
  - 【注5】延期、簡素化した競技は考えていない
- 【注 6】大会が中止になった場合の順位は、主催者が方針を協議し、臨時の監督会議を 得て決定する
- ■保健所による検査・消毒が実施された場合は、全ての要請に従う
- ■感染者、濃厚接触者は帰省が困難になる場合がある 入院等が指示された時は、大分県内の医療機関に搬送される場合がある